

オンライン 初心者のための九州クルーズ船寄港地ツアー訪問地の紹介
by JGA 第4支部現役ガイド(博多港・別府港・長崎港 編)
2026年2月9日(月) 第4支部研修終了報告

2月9日13時～15時、オンラインで「初心者のための九州クルーズ船寄港地ツアー訪問地の紹介 by JGA 第4支部現役ガイド(博多港・別府港・長崎港 編)」が行われました。3人の正会員講師は、吉田美由紀さん(福岡、英語)、若松君子さん(大分、英語)、江口尚子さん(大分、スペイン語)。参加者は38名(正会員30、非会員8)+進行・ZOOMスタッフ3名でした(お申し込みは42名)。九州、中国、関西、北陸、中部、関東各地域から、種々の登録言語(英・仏・英仏・独・西・葡・英伊)の方からご参加いただき、一堂に会すことができました。

今回は、毎年増加の傾向をたどり、初心者でもアサインされやすい九州のクルーズ船寄港地ツアー訪問地について、ご自身の居住する地区の港やよくアサインされる港について発表しました。

登壇いただきましたのは、福岡にお住まいの①吉田さん:プレゼンを締めくくるにあたり博多弁で「また、来んしやい。待つとうけんね。」とおっしゃられていた通り、福岡生まれ福岡育ちです。プレゼンでは、**博多港**からの高速道路に乗って移動するバーチャルバスツアーで太宰府市や福岡市を巡って博多港に戻ってくるルートでのご説明をしてくださいました。②若松さん:別府にお住まいで、**別府港**から各方面へ向かう各種のツアーについてお話ししてくださいました。初心者がアサインされやすい別府市の海地獄や血の池地獄の特徴や別府の温泉の特徴について丁寧な説明をして下さったり、湯布院や九重の夢大吊橋、杵築の城下町、豊後高田の熊野摩崖仏、臼杵の石仏などのご紹介もしてくださいました。③江口さん:良くアサインされている**長崎港**からのツアーのパターンや組み合わせについてお話してくださいました。まず、長崎市の地形的特徴を話された後、港から5.2Kmの距離に歴史が詰まっている事やシュガーロードという異名を持つ長崎街道が果たした役目、長崎特有の「和華蘭」文化が異国情緒のある街並み、食文化やお祭りに反映されている事など説明されました。

第4支部では、半年に1回のオンライン顔合わせ会を行いながら、会員間の交流を深めています。そこで、会員のニーズを拾い上げる機会もあります。特に、初心者のための九州内外のクルーズ船寄港地ツアー訪問地の紹介をシリーズ化し継続できれば思います。そして、皆さんのお役に立てればと思います。 第四支部担当

